

Press Release



<<報道資料>>

2012 年 5 月 16 日

日本コンピュータ株式会社

コンピュータ、クラウドやビッグデータに対応する

大企業向けアプリケーションパフォーマンス管理ソリューションを発表

**最新のダイナミックなアプリケーションのパフォーマンス最適化、操作、管理を
簡素化した業界初のソリューション、Compuware dynaTrace Enterprise**

※当資料は、コンピュータ コーポレーションが米国時間2012年5月15日に発表した報道資料の抄訳です。

米国ミシガン州デトロイト - 2012 年 5 月 15 日発表 - コンピューウェア コーポレーション (NASDAQ: CPWR) は、本日、ダイナミックなクラウドアプリケーション及びビッグデータアプリケーション用として、業界初となる、高度なトランザクション管理ソリューション、Compuware dynaTrace® Enterprise を発表しました。このソリューションは、今春新たに統合された Compuware APM Platform® Spring 2012 Platform Release の一部として出荷され、その革新的新機能により、最先端ダイナミックアプリケーションのパフォーマンスの最適化、操作、管理の簡素化を実現します。

仮想化環境の導入に代表されるように、アプリケーション環境の目まぐるしい変遷により、アプリケーションパフォーマンス管理(APM)に対する顧客企業のニーズも質的に変化し、スケーラビリティの大きいアーキテクチャや、ダイナミックかつエラスティックなリソースの割り当てへのサポートが求められるようになっていきます。dynaTrace Enterprise 及び特許取得済みの PurePath® テクノロジーにより、EC2 や Azure といったクラウドアプリケーションや、Cassandra や Hadoop などのビッグデータアプリケーションが簡単に最適化・管理され、パフォーマンスと利便性が向上します。

エンタープライズマネジメントアソシエーツ(EMA)のリサーチディレクターである Julie Craig 氏は次のように述べています。

「今日のアプリケーション環境は急激に変化しており、仮想化環境がよりダイナミックかつフレキシブルとなり、企業においては、エラスティックなクラウドアプリケーションが主流となっています。これに伴い、ビジネスではプライベートなクラウドに代わり、より公共性が高いハイブリッド・クラウドの使用が拡大しています。同時に、ビッグデータが企業基幹システム用アプリケーションにおいて重要性を高めており、業務の分析や決定の支援、BI その他のデータ分析ソリューションにおいて莫大な量のデータの使用を望む企業も増えています。これらの条件と、統合されたダイナミックな環境下にあるクラウドが、新しいアプリケーションアーキテクチャやデザインポイントに対応できないということが、従来の APM ツールの厳しい課題となっています。この結果、既存ツールの“クラウドへの適応性”を再検討した多くの企業の CIO が、より軽量かつスマートで使い勝手の良い APM システムを求めるようになっていきます。コンピュータは、非常に複雑化したアプリケーション環境におけるアプリケーションパフォーマンスの確保に必要とされる多角的な可視性を提供し、この問題に適切に対応したと言えるでしょう」

ビッグデータアプリケーションのためのコンピュータの APM

パフォーマンスの課題やボトルネックを数多く抱えているにも関わらず、パフォーマンスデータがさらに増加する可能性があるビッグデータアプリケーションは、現在流通しているアプリケーションにとって課題となっています。ノード間のデータ分配を最適化し、クエリーの関係性に応じてトランザクションを調整し、入出力におけるボトルネックを識別し、数千のノードの中で CPU とメモリ消費量を調整し、ジョブリストの効率を確保するためには、ビッグデータアプリケーションに対する深い洞察が必要となります。dynaTrace Enterprise は、Cassandra NoSQL と Hadoop Map/Reduce 双方のビッグデータ環境における可視化を実現し、この非常にスケーラブルでエラスティックな環境を以下の独自の手法によりサポートします。

- **ゼロコンフィギュレーション装備**

リアルタイムのコードレベルによる明確さで、より低コストで、迅速なチューニングとスケーラブルなインスタンスが実現。

- **そのまま使える分析機能とダッシュボード**

Cassandra と Hadoop 用に最適化されており、MTTR も短く、調整も効果的に行え、管理も簡単。

- **大量生産においても間接費は 1~2%**

1 日 24 時間年中無休で、すべてのトランザクションをより低コストでモニタリング。

- **自動調整機能付きの装備とダッシュボードで、ノータッチでエラスティックな利用が可能。**

- **スマートな自動ベースラインで、タイム・トゥ・バリューが短縮でき、ダイナミックで非常にエラスティックな環境でも、誤検知なし。**

- **トランザクションの詳細とのログファイル自動相関により、競合製品に比べてアプリケーションのコンテキストをより高度に分析し、解決に至る時間(MTTR)を短縮。**

クラウド及びマルチクラウドアプリケーション用のコンピュータ APM

クラウドのセキュリティが確保されて行くに従い、クラウドにビジネスクリティカルなアプリケーションを構築し導入、運用する CIO や CTO にとって、アプリケーションパフォーマンスが最重要課題となりつつあります。仮想マシン、ダッシュボード、レポートシステムなどを手動で準備しなければならない従来の APM システムに比べ、最近のクラウドアプリケーションはダイナミックすぎる存在となってしまったと言えるでしょう。dynaTrace Enterprise は VMWare、EC2、Azure などのクラウド環境への拡張機能に加え、以下の機能により、このような状況を一変させました。

- **自動検出と自動調整の機能を備えた PurePath 装備**

(vCloud + EC2 または Azure) などのマルチクラウド環境やハイブリッド・クラウド環境においても、低操作コストで最も高度なアプリケーションの可視化を実現。

- **スマートな自動ベースラインのためのダイナミックな行動分析**

リアルタイムのイベントに合わせて調整を行い、従来の単純なベースラインに比べて誤検知が劇的に減少。

- **ゼロコンフィギュレーション操作のダッシュボード**

クラウドインフラストラクチャーのダイナミックな変化に自動的に適合し、より迅速なタイム・トゥ・バリューでデータ損失ゼロを達成。

- **自動相関多層ビュー**

アプリケーション、仮想マシン、ゲスト OS、ハイパーバイザの可視化をより迅速かつ正確な優先順位で、最速の MTTR にて実施。

・3 層のコレクタアーキテクチャーの確保

単一のクラウドあるいはマルチクラウドの環境の中で容易な管理、優れたスケーラビリティ、パフォーマンスデータ管理を維持するため、世界的に特許を取得している PurePath トレーシング機能を活用。

・IPv6 用のクラウド、Web、モバイル UEM

IPv6 の増大するユーザーベースにおいても可視性を維持。コンピュータによる、唯一の高度なエンド・トゥ・エンドユーザ志向の APM 製品。

コンピュータ APM ビジネスユニット dynaTrace Enterprise エンジニアリング担当シニアバイスプレジデント兼 CTO である Bernd Greifeneder は次のように述べています。

「顧客企業から、アプリケーション環境が以前にも増して急激に変化しているとの声をお聞きすることが非常に増えました。このほど発表した dynaTrace Enterprise では、ダイナミックなクラウド、エラスティックなビッグデータ、操作の自動サポートなど、アプリケーションに関する数多くの課題を念頭に設計と構築を行いました。これまでのソリューションと同様に、開発、テスト、調整においてお客様の支援を得られたからこそ、最先端の機能が実現できたのであり、今後もこの協力を得て、競合製品と一線を画すコンピュータの APM ソリューションを提供し続けたいと考えています」

Compuware APM[®] は、Web、非Web、モバイル、ストリーミング、クラウドアプリケーションといった様々なアプリケーションのパフォーマンス最適化を実現する業界屈指のソリューションです。エンドユーザ体感に基づき、ユーザーが利用するブラウザから、クラウドを通じてデータセンターにいたる、アプリケーションデリバリーチェーン全体の統一ビューを提供します。

よりスマートな分析機能と最先端の自動APM機能を兼ね備えたCompuware APMは、顧客の予防的な問題解決を支援することで顧客満足度を向上させ、発売までの時間(TM)を短縮し、アプリケーション管理コストを削減します。

コンピュータは、全国に4,000以上の顧客を持ち、Gartnerの報告書『*Magic Quadrant for Application Performance Monitoring (APM)*』において、「リーダー」に位置づけられています。詳しい報告書はこちらから参照できます：<http://bit.ly/q5jKi7>（英文のみ）

コンピュータは、Twitter、Youtube、Facebook からも情報を配信しています。

- ・<http://twitter.com/compuware>（米国本社アカウント: 英語）
- ・http://twitter.com/compuware_japan（日本コンピュータアカウント: 日本語）
- ・<http://www.youtube.com/user/Compuware>（米国本社アカウント: 英語）
- ・<http://www.facebook.com/Compuware>（米国本社アカウント: 英語）

■ コンピューウェア コーポレーションについて

コンピューウェアは、‘The Technology Performance Company’として、IT が問題なく稼働し、ビジネスに貢献するための、ソフトウェア、エキスパート、ベストプラクティスを提供します。コンピューウェアのソリューションは、全世界のリーディングカンパニーが IT を最大限活用できるように支援しています。これらのリーディングカンパニーには、フォーチュン 500 上位 50 社のうち 46 社や、米国の Web サイト企業上位 20 社のうち 12 社が含まれています。

- ・米コンピューウェア コーポレーション <http://www.compuware.com>（英文）
- ・日本コンピューウェア株式会社 <http://jp.compuware.com/>

■ お問い合わせ先

・報道関係の方

日本コンピューウェア株式会社 広報事務局 (株式会社ジャパン・カウンセラーズ内)
TEL: 03-3523-8210、Email: compuware@jc-inc.co.jp

・Compuware Gomez[®] APM ソリューションをご検討の方

日本コンピューウェア株式会社 営業部代表
TEL: 03-5473-4531、Email: marketingjapan@compuware.com

□記載されているすべての製品名および会社名は各所有者の商標です。